

パイプファン 工事説明書

この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

用途	居室・トイレ・洗面所用	品番	速結端子付きタイプ (φ100パイプ用)	(φ150パイプ用)	
			シャッターなし	手動式シャッター付	
			FY-08PD7SD FY-08PDX7SD FY-08PDA7SD FY-08PDAL7SD	FY-08PDS7SD FY-08PDSL7SD	FY-13PDS7SD

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
 ■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。
 ■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	してはいけない内容です。
注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。	実行しなければならない内容です。

<p>警告</p> <p>■仕様変更・改造は絶対にしない</p> <p>■交流100ボルト以外で使えない</p> <p>■分解禁止</p> <p>■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造営造物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける</p> <p>■漏電した場合、火災の原因となります。</p>	<p>注意</p> <p>■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実にこなす</p> <p>■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する</p> <p>■浴室など、湿気の多いところに取り付けない</p> <p>■部品は確実に取り付ける</p> <p>■本体は指定の方法で確実に取り付ける</p> <p>■浴室など、湿気の多いところに取り付けない</p> <p>■感電や故障の原因となります。</p> <p>■水場使用禁止</p>
--	---

お願い

- 高温になる場所(周囲温度40℃以上)に取り付けられないでください。
- 台所など、油煙の発生する場所や有機溶剤がかかる場所に取り付けられないでください。
- 給気口を設けてください。
- パイプファンを石膏ボードに取り付ける場合は、下地木または市販の石膏ボード用アンカーを使用してください。天井付けの場合は、必ず木枠を設けてください。

■次のような配管工事はしないでください。

- (1) 極端な曲げ (2) 多数回の曲げ
- (3) 接続パイプ径を小さくする
- (4) 壁埋込パイプを室内側に傾斜させる

■アルミフレキダクトには取り付けられないでください。

■取付ばねを固定しているねじをはずす。 ※取付ばねをはずしたあと、元通りねじを取り付ける。

各部の名前と寸法

<p>FY-08PD7SD FY-08PDX7SD</p>	<p>FY-08PDA7SD FY-08PDAL7SD</p>
<p>FY-08PDS7SD FY-08PDSL7SD</p>	<p>FY-13PDS7SD</p>

付属品 末尾の数字は数量をあらわします。

ねじ (本体裏面に付属)2

取扱説明書1 (必ずお客様にお渡しください。)

取付部品

■別売の省施工パイプセットをご使用になることをお勧めします。

FY-PAP041 (呼び径 φ100用)

FY-PAP061 (呼び径 φ150用)

パイプセットをご使用になる場合は、パイプセットに付属の工事説明書を参照願います。

■この換気扇は次のパイプに取り付けることができます。

適用パイプ (呼び径)	外径	内径	下穴径
φ100タイプ	FY-PAP041 φ110	φ107	φ110
	VP100 φ114	φ100	φ115
	VU100 φ103	φ107	φ105
	FY-KP04 φ157	φ100	φ105
φ150タイプ	FY-PAP061 φ157	φ154	φ160
	VU150 φ165	φ154	φ165
	FY-KP06 φ153	φ150	φ155

●VPパイプにパイプファンを取り付けた後、VUパイプには取り付けられないでください。(風漏れ防止のため)

●VP150管は使用しないでください。VP150管にパイプの06タイプ(φ150用)が取り付けられない場合があります。

●VPパイプやFY-PAP041、FY-PAP061に取り付ける際には、取付ばねを取りはずしてください。

施工方法 以下の手順に従って施工してください。

イラストはFY-08PDS7SDを示します。

1 パイプ・パイプフードの取り付け

①取り付け場所を決める。「安全上のご注意」を参考にして取り付け位置を決め、パイプ下穴を開けてください。

②壁に穴(φ10mm)をあけ、電源用電線(VVFφ1.6mmまたはφ2.0mm)を引き出す。

③パイプを壁に埋め込む。パイプはかならず取り付け、取り付け壁面にコーキング処理を施し、パイプがぐらつかないよう確実に固定してください。

④外壁面には、パイプフード(別売品)、ベントキャップ(別売品)を取り付ける。

■パイプフード・ベントキャップの施工方法はそれぞれの工事説明書をお読みください。特に薄壁(壁厚90mm以下)の場合は、薄壁用のパイプフード・ベントキャップを選択してください。また、パイプフード・ベントキャップが、換気扇本体に当たらないように施工してください。

■外風や風雨浸入を防止するため、シャッター付パイプフードの取り付けをおすすめします。(手動式シャッター付を除く)

■石膏ボードに取り付ける場合は、下地木(お願項目のイラスト参照)または市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。

■電源用電線の先を図のように加工してください。

■パイプフード・ベントキャップの施工方法はそれぞれの工事説明書をお読みください。

2 本体の取り付け

壁・天井同様に取り付けます。(FY-08PDS7SD、FY-08PDSL7SD、FY-13PDS7SDは天井には取り付けられません。)

①ルーバーをはずす。(1)本体を持ち、ルーバー下面の取っ手に指を引っ掛け、(2)上へ上げてはずす。

②本体裏面の速結端子に、電源用電線を確実に差し込む。

③本体をパイプに差し込み固定する。必ず付属のねじ(2個)で固定してください。

④ルーバーを本体に取り付ける。(1)ルーバーを本体上部のツメ(2か所)に引っ掛け、(2)壁面に当たるまでおろす。(3)ルーバー上辺を押し、浮きのないことを確認する。

3 試運転

■運転方法

本体電源スイッチ

入 運転するとき。

切 停止するとき。

■試運転

手動式シャッターを開き(手動式シャッター付のみ)、本体電源スイッチを「入」にして運転し、異常がないか確かめる。

- 羽根が回っていますか?
- 異常な振動・騒音がありませんか?

■結線図

本体電源スイッチ

茶 黒 白

電源 a.c.100V

接続端子

●FY-13PDS7SDは、リード線の茶色が赤になります。